

デビュー 20 周年記念 連続リサイタル Vol. 3

1989 年 11 月 5 日に永眠したホロヴィッツ 没後 32 年を名器《CD75》と共に偲ぶ

ヴラディミール・ホロヴィッツ メモリアルコンサート

2021. **11/5** 金

19:00 開演 (18:30 開場)

浜離宮朝日ホール

全席自由

一般 **5,000** 円 / 学生 **3,500** 円

タカヒロ・ホシノ

Takahiro Hoshino

(干野宜大)

ピアノ・リサイタル



ショパン

ポロネーズ第 7 番「幻想」

ワーグナー=リスト

トリスタンとイゾルデより **「イゾルデの愛の死」**

ラフマニノフ=ホロヴィッツ

ソナタ第 2 番 Op. 36 他

曲目は変更になる場合がございます。予めご了承ください。

チケット申込

■タカギクラヴィア 株式会社

TEL : 03-3770-9611 / FAX : 03-3770-9610

<http://takagiklavier.com/>

■浜離宮朝日ホールチケットセンター

TEL : 03-3267-9990

■e + (イープラス)

<http://eplus.jp>

■一般社団法人日本芸術連盟

E-mail : fierte115@gmail.com



主催：タカギクラヴィア 株式会社

後援：一般社団法人日本芸術連盟

タカヒロ・ホシノ

デビュー 20 周年記念ピアノリサイタル

ヴラディミール・ホロヴィッツ メモリアルコンサート



タカヒロ・ホシノ (干野 宜大)

桐朋学園大学を経てハンガリー政府給費留学生として、ハンガリー国立リスト音楽院に留学。

Maria Canals、Viotti=Valsesia、Cantu、Masterplayers、TIM Roma などの国際コンクールにて多数優勝、上位入賞を果たす。ヨーロッパ各地の国際音楽祭に招かれ国内外のオーケストラと共演多数。

T&K クラシックス (タカギクラヴィアグループ) に専属アーティストとして移籍。近年はタカギクラヴィアの協力を得て、『ホロヴィッツの恋したピアノ』ヴィンテージ NY スタインウェイ CD75 を使用した演奏活動を展開している。これまでに河原裕康、宮澤功行、松岡貞子、田崎悦子、Erick Heidsieck、György Nádor、Ferenc Rados の各氏に師事。

上野学園大学音楽学部准教授、昭和音楽大学講師にて指導にあたる他、札幌コンセルヴァトワール客員講師、一般社団法人日本芸術連盟代表理事、FIERTÉ 並びに FIERTÉ Piano Academy 代表を務める。

又、ドイツ ハレで開催されている Euro Music Festival & Academy 招聘教授。これまでに CD 『LISZT-SCHUBERT』 (AUCD-6)、『熱情・クライスレリアーナ』 (AUCD-18)、「LISZT I ~内なる深淵との対峙~」、T&K Entertainment (日本コロムビアマーケティング) よりベートーヴェン 3 大ソナタ「PASSION」、 「STORY」をリリース。レコード芸術誌で特選盤、音楽現代誌で推薦盤に選出されるなど高い評価を得ている。



【 ヴィンテージ・NY・スタインウェイ “ホロヴィッツの恋したピアノ” CD75 を使用 】

■1912年6月19日生まれ 製造番号 #156975。

ホロヴィッツが最も愛した伝説の楽器として有名。晩年の全米ツアーの他、1982年のロンドン公演、1983年の初来日NHKホールでも使用された。良く鳴る枯れたボディーと弦圧の低い響板。これにより響板のダンパー効果が弱いので、サスティーンが長い。特にピアノシモの音の伸びは特筆すべきで、これにより表現力の豊かさが格段に広がって、整音の効果も十分発揮される。低音域から高音域に至るまで各セクションの鳴りムラもないので、驚く程音量バランスが良い。これはピアノ本体の性能であり、このどれが欠けても名器と呼ばれる楽器にはなれないが、この CD75 のボディーはその全てを持ち合わせた類いまれな名器である。



20世紀最後の巨匠ホロヴィッツ。

没後四半世紀を経ても、彼の人気は衰えることなく、常にカリスマ的存在であり続けています。生涯数台のスタインウェイしか弾かなかったホロヴィッツが、最も愛した名器《CD75》。1983年6月、初来日のNHKホールにも運ばれ衝撃のコンサートとなりましたが、今も「ホロヴィッツ・コンディション」を保っている楽器は、世界でこの一台しか存在しません。

現代のピアノとは全く異なる圧倒的なパワーと色彩豊かな音色を持ち、まさにクラシック黄金時代の頂点を極めた巨匠たちのピアノです。

命日である11月5日、ホロヴィッツが得意とした名曲を、タカヒロ・ホシノの演奏でお楽しみください。